

この行事、だれが続けているの？



受け継ぐ人がいるからだよ

# 文化を受け継ぐ

つながる文化、つなぐ人



# この教材の使い方

1

## 見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

## 「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

## 「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

## もくじ

|          |       |
|----------|-------|
| 受け継ぐとは   | 3～4   |
| うけつぐ人    | 5～7   |
| 残すくふう    | 8～12  |
| 自分にできること | 13～15 |
| 確かめよう    | 16～19 |
| くらべる・疑問  | 20～22 |
| おさらい     | 23～25 |
| つたえる     | 26～28 |
| まとめ      | 29～30 |

# 文化を受け継ぐってどういうこと？

文化が受け継がれるということについて考えましょう。

日本文化の多くは、だれか一人がつくって終わりではなく、**親から子へ、師匠から弟子へ**というように、長い年月をかけて受け継がれてきました。

受け継ぐとは、形をそのまま残すことだけでなく、意味や思いも一緒に伝えていくことです。



## ポイント

- 行事も、道具も、技も、伝える人がいなければ次の世代には残りません。
- 受け継がれてきたものには、それぞれ理由や思いがこめられています。

## やってみよう

1. あなたの家や地域で、受け継がれていると感じるものを1つ書こう。

2. だれから伝えられたものか、考えてみよう。

**ワンポイント** 「昔からのやり方」には、多くの場合、先人が工夫を重ねてきた理由があります。

## 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

道具が手に入りにくい

1つの理由だけでなく、いくつもの理由が重なることが多いです。

- 一度とだえてしまうと、同じ形にもどすことが難しい場合もあります。
- 地域や時代によって、続けやすさには差があります。

1. 身近で「昔はあったけれど、今は見なくなった」と感じるものを聞いてみよう。

## 4

# 担い手不足・職人や師匠から学ぶ

文化を支える人と、その学び方を知りましょう。

## 担い手

にないて／になう人

文化や行事を支え、続けていく人

## 弟子

でし／師匠に教わる人

技や心がまえを学ぶ立場の人



Ken

うちのおじいちゃんは、若いころ職人さんに弟子入りしたんだって。

Emma

弟子入りって、どんなふうに学ぶの？



## ポイント

- 多くの伝統技術は、長い年月、そばで見て、まねて、体で覚えていくと言われています。
- 担い手が減ると、技や知識が次の世代に伝わりにくくなります。

## やってみよう

1. 職人や師匠から何かを学ぶとしたら、どんなことを学びたいですか。

## 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



学校の中にも、文化を受け継ぐ場面があります。

## 地域の行事への参加

授業や行事を通じて、文化に出会う機会がつけられています。

- 学校での学びが、文化に興味を持つきっかけになることもあります。

1. 学校で出会った日本文化を1つ思い出してみよう。

# 記録して残す・デジタルで残す

文化を記録して残す方法を知りましょう。

## 記録して残す

### 文章に書く

由来やつくり方を言葉で残す

### 写真や絵

様子や形を目に見える形で残す

## デジタルで残す

### 動画に残す

動きや音まで記録できる

### データとして保存

多くの人がいつでも見られる

## ポイント

- 記録があると、担い手が減っても、後の世代が学び直すことができます。
- 記録だけでなく、実際に人から人へ伝えることも大切にされています。

## やってみよう

1. 家にある古い写真や道具で、記録しておきたいものを1つ書こう。

## 書いて覚えよう

祭りに新しい出し物を加える

形を少し変えても、大切な心や意味は受け継がれています。

- 変わらないことだけが大切なのではなく、続けるための工夫も大切にされています。

1. 伝統を続けるための工夫を、自分だったら考えてみよう。

## 9

## 若い世代の活躍

若い世代が文化を受け継ぐ姿を知りましょう。

### ポイント

- 若い世代の中には、祭りの担い手や職人を志す人もいます。
- 新しい視点を持つ若い世代が加わることで、文化に新しい魅力が生まれることもあります。

Emma

若い人が伝統を続けるのは、大変そうだね。



Ken

大変だけど、誇りを持って続けている人も多いんだって。

### やってみよう

1. 自分が将来受け継いでみたい文化はありますか。 \_\_\_\_\_

### 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

海外の人の関わりと、文化財の保護について知しましょう。

## ぶんかざい／cultural property

ほご／protect

11

## 無形文化遺産の保護・自分にできること

形のない文化を守る取り組みと、自分にできることを考えましょう。

## 無形文化遺産とは

祭りや芸能、工芸の技など、形として残らないけれど大切な文化は「無形文化遺産」と呼ばれ、国内外で保護の取り組みが進められています。

## ポイント

- 無形文化遺産は、実際に人が続けていくことでしか守れません。
- 小さなことでも、興味を持ち続けることが、文化を支える力になります。

やってみよう

1. 文化を受け継ぐために、自分にできそうなことを1つ書こう。

書いて覚えよう

## 家族や近所の人に聞く

身近なところから、地域の文化について知ることができます。

- 調べることも、文化を受け継ぐ第一歩になります。

1. 自分の地域に伝わる行事や技を1つ調べてみよう。

話を聞いて受け継ぎ、それをまた伝えてみましょう。



おばあちゃんに、昔の行事のやり方を聞いてみたんだ。



本にはのっていない話も聞けそうだね。

- お年寄りの話には、資料には残っていない生きた知恵がふくまれています。
- 聞いたことを友だちや家族に伝えると、文化が少しずつ広がっていきます。

1. 家族やお年寄りに、昔の暮らしについて1つ質問してみよう。

2. 聞いたことを、だれかに伝えてみよう。

- 文化は、受け継ぐ人がいる限り、形を少しずつ変えながらも続いていきます。
- あなた自身も、これからの日本文化をつくっていく一人です。

1. 50年後、どんな日本文化が残っていてほしいですか。

**ワンポイント** 次のページからは、実際に見て、体験しながら、受け継ぐことへの理解を深めていきましょう。

## 写真や実物を見てみよう

見て、ふれて、受け継がれてきたものを感じましょう。

### 見てみよう

写真集・図鑑

博物館・資料館の展示

テレビ番組

インターネットの動画

本物の道具（着物・器など）

古いものほど、直され、大切にされてきた跡が見えることがあります。

### ポイント

- 博物館や資料館では、いつ、だれが伝えてきたかにも注目すると理解が深まります。

### やってみよう

1. 家にある古いものを1つさがして、いつごろのものが聞いてみよう。

**ワンポイント** 大切な展示物にはさわれないことが多いので、注意書きをよく確認しましょう。

### 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 体験してみよう

実際に体験すると、受け継ぐことの意味がよくわかります。

やってみよう

折り紙

書道

茶道体験

和菓子づくり

盆踊り

多くは、家や学校でも安全に体験できます。

## ポイント

- 体験すると、続けることの難しさや楽しさが、少し実感できます。
- 刃物や火、熱いものを使うときは、大人といっしょに行いましょう。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。
2. 体験してみて気づいたことを書こう。

## 書いて覚えよう

18

## 多くの地域で見られる考え方

次の世代に技や役割を教える

参加しやすい形に少しずつ変える

地域によって形がちがうもの

組合や講、家柄によるものなど

人数や地域の事情に合わせた工夫

- 「必ずこうする」と決めつけず、地域ごとの事情やちがいを大切にしましょう。

1. 自分の地域ならではの受け継ぎ方を1つ書こう。

昔と今をくらべよう

受け継ぎ方も、時代とともに変わってきました。

普

## 以前の受け継ぎ方

## 直接会って教わる

師匠のそばで長い時間を過ごす

## 地域の人だけで継ぐ

身近な人の中で受け継がれた

今

## 今の受け継ぎ方

## 動画や記録も活用

遠くの人にも技術を伝えられる

外の地域や海外の人も参加

新しい担い手の輪が広がる

## ポイント

- 形が変わっても、技や心を大切に伝えようとする姿勢は受け継がれています。

やってみよう

1. 家族に、昔と今で受け継ぎ方が変わったと感じることを聞いてみよう。

## 書いて覚えよう

## よくある疑問

文化を受け継ぐことについて、よくある疑問を確認しましょう。

### よくある疑問

Q. 伝統は、形を変えずに守るべきですか？

A. 考え方はさまざまです。形を大切に守る例も、時代に合わせて変える例もあります。

Q. 担い手がなくなったら、文化は必ず消えてしまいますか？

A. 記録や新しい取り組みによって、後から見直され、再び続けられることもあります。

### ポイント

- わからないことは、そのままにせず、本や詳しい人に聞いてみましょう。

### やってみよう

1. 文化を受け継ぐことについて、あなたが疑問に思うことを1つ書こう。

### 書いて覚えよう

## マナーと注意点

文化を受け継ぐ現場にふれるとき、気をつけたいことがあります。

## ポイント

- 祭りや稽古の場では、まわりの人のやり方を見て、静かに従いましょう。
- 職人や担い手の方の作業を見学するときは、指示や注意事項を守りましょう。
- 写真や動画を撮るときは、撮影してよい場所かを確認しましょう。

**ワンポイント** わからないことがあるときは、無理に自己判断せず、その場の人にたずねると安心です。

やってみよう

1. 行事や作業を見学するときに気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

## 用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

## 受け継ぐ人

☐ 担い手

文化や行事を支え、続けていく人

☐ 弟子入り

師匠のもとで技や心がまえを学ぶこと

## 守るしくみ

☐ 文化財

歴史や芸術の面で価値があり守られているもの

☐ 無形文化遺産

形として残らないが大切な文化を保護するしくみ

**ワンポイント** 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、受け継ぐことがもっと身近に感じられます。

## 書いて覚えよう



- ☐ 文化が受け継がれるしくみを説明できる 地域・家庭・学校など
  - ☐ 担い手不足という課題を知っている 伝統が続きにくくなる理由
  - ☐ 文化を記録して残す方法を1つ言える 写真・動画・文章など
  - ☐ 自分にできることを1つ考えた 調べる・話を聞くなど

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。

書いて覚えよう

## 家族や友だちに話してみよう

学んだことを、自分のことばで伝えてみよう。

伝えたい文化

受け継がれてきた  
理由

自分が感じたこと

相手に聞いてみた  
いこと

### Ken の例

伝えたい文化 地域の祭り／受け継がれてきた理由 住民みんなで支えてきたから／自分が感じたこと 続けるための苦勞を知った／聞いてみたいこと 他の地域にはどんな祭りがあるか

### ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

### 書いて覚えよう

# 英語で紹介してみよう

文化を受け継ぐ取り組みを、短い英語でも紹介できるようにしよう。

## 担い手

the people who carry on the tradition

文化や行事を支え、続けていく人

## 受け継ぐ

to pass down / to inherit

次の世代に伝えていくこと

Emma

この行事は、どうやって次の世代に伝わっているの？



Ken

地域の人が協力して、子どもたちに教えているんだよ。

## ポイント

- すべてを英語に直訳しようとせず、意味を簡単なことばで伝えることが大切です。

## やってみよう

1. 受け継がれている文化を1つ選び、短い英語で説明してみよう。

## 書いて覚えよう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

実際に参加して担い手の話を聞く

## 文化を自分の言葉で表現すること

- この教材の次は「日本文化を表現する」。学んだことを自分の形でまとめていきます。



# 文化を受け継ぐチャレンジ

教室の外でも、受け継ぐ文化はすぐに見つけられます。

## 見つけよう

身近で受け継がれている文化を1つ探す

## 聞いてみよう

家族や地域の人に由来や思いを質問する

## 伝えよう

知ったことを友だちや家族に紹介する

### こたえ

L28 担い手→ウ 弟子入り→ア 文化財→イ 無形文化遺産→オ 保護  
→エ 2. 正しい / まちがい

L33 (例) 文化は、受け継ぐ人がいて初めて未来へつながっているもの。

### 書いて覚えよう

#### 文化を受け継ぐ (Season 10 | No.99)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。